

平成30年度第1回相楽東部広域連合総合教育会議 会議録

1日 時 平成30年10月15日（月）午後3時00分～5時00分

2場 所 和東町体験交流センター 会議室

3出席者 広域連合長 堀 忠雄
副広域連合長 手仲 圓容
副広域連合長 西村 典夫
教育長 西本 吉生
教育委員職務代理 石橋 常男
教育委員 北口 弘子
教育委員 中井 薫
教育委員 植田 宏和

4傍聴人 なし

5議 事

(1) 開会

司 会 安原事務局長

(2) 広域連合長あいさつ

堀 広域連合長

相楽東部広域連合総合教育会議設置要綱第4条に基づき、広域連合長が会議の議長として以下の議事について進行を行った。

(3) 相楽東部未来づくりビジョンに基づく教育環境の充実について

事務局から資料に基づき、相楽東部未来づくりビジョンの趣旨、内容等について説明を行った。

<主な質疑・意見交換>

○副連合長

I C Tの具体的な活用状況についてはどうか。

○事務局

平成27年度からコンピュータ室のパソコンについて随時入替、また国の指針も踏まえ、無線 LAN の環境も整備済。タブレットについても試験的に導入し、教育の場での使い方について研究しているところ。電子黒板、電子辞書も含め、成果を共有しながら、進めてまいりたい。

○教育長

まずは学校で教職員が使いこなすことが必要。教科書も電子化するかもしれないが、I C Tだけでは成り立たない。不登校の子どもが家にいながら学習できる等活用できる場面は拡

がっていくと思うが、人と人、心と心を抜きにしては教育は成り立たない。

○副連合

行政の場でも設計や電子入札等 I C Tが進んできている。子どもの頃から慣れ親しんでおくことも必要。

○連合長

I C Tを活用できるよう、創造力を働かせないといけないし、そういった教育が必要。

○教育長

読み書きそろばんは、基礎基本。ただ、これからは、それだけではついていけない社会となっている。

○副連合長

教育で I C Tをどう活用していくのかが問題。良いことも悪いことも教えた上で、子どもたちに地域の課題や地域の良さをどう認識させるのか、子どもの頃から教えていかないとけない。

一方、ペーパーレス化が進んでいるところや、タブレットを使った特色ある教育を実施している学校もある。

○教育長

市町全体で取り組んでいるところもある。課題を家に持ち帰って、タブレットを使って、実際の勉強は家でやっている。精神的なところもある。

○副連合長

必要なことはできるが、人間性がそれで形成できるのか。人間形成、社会性を育むことが重要であり、社会で使えないといけない。一方で、立派な設備があっても、使いこなせないと意味がない。社会に役に立つ活用できる人材を育てないと。時代の変化が急激な中では、10年後20年後先を見据えた教育が必要であり、思い切ったことも必要。

○連合長

モノが溢れかえった今日では、「生きがい」や「健康」といったことに注目が集まってきており、人間性豊かな教育、ふるさと教育を通じて、自然豊かな相楽東部をうまくアピールできればと考えている。相楽東部ならではの教育を通して、「お茶のこころ」「おもてなしの心」を養うとともに、人間力や強い人間を育てられればと考える。

○教育長

未来づくりビジョンでは、子育ての項目の中で、I C Tの推進とともに、大学生との連携、学校内外での学習環境についても書かれている。現在でも、京都大学による天文学や夏休みのまなび塾で同志社大学等との交流もある。今後も拓げていくことの重要性は感じている。スポーツ少年団については、人が少なく成り立たないというのが実態としてある。和東ではミニバスケット等があるが、広域化しないとけない。大きな課題と認識している。

○副連合長

子どもの交流が大切。そのためにもスポーツ少年団は重要。3町村がチームと一緒にできないかと考えている。

○連合長

町村毎ではなく、スポーツも文化も連合として一緒にやっていかないとけない時期にきている。

○教育委員

スポーツは地域性があり、リーダー、指導者の育成が課題。

○教育委員

スポーツ好きで、まとめてくれるような人材もあるが、年々減ってきている。3町村がこ

うした人を機能させるよう、熱い思いの人を支援していくことも必要。リーダーをつなぐネットワークまでできると、連合としてやっていける。

○教育委員

学習指導要領の改訂の中では、2つの大きなテーマが掲げられている。1つは、ICTの活用、もう一つはお互い話ながら問題解決を図っていこうというアクティブラーニング。ただ、この2つは融合させて一緒にはできないことから2つの柱が掲げられている。結果は、学んだ子どもたちが今後どう成長していくかにかかっている。

○教育委員

本物にふれる機会、教育を推進してほしい。

○副連合長

世界中がつながりグローバル化した中でどう生きていくのかが問われている。

○連合長

こういった時代だからこそ、強い人間を育てていくことが大切であり、相楽東部ならではの教育を通じて、またこの素晴らしい自然にふれる中で、培われるものであると考えている。ここでしか出来ないこともたくさんある。

○教育委員

オリンピックに向けて、ボルダリング等も注目されており、チャンスでもある。

○副連合長

各学校でいろんな取組をされており、他の学校にも広げてほしい。ただ、体験するにしても、サポートする人が必要。

○連合長

このビジョンは、具体的なものではなく、自然豊かな相楽東部地域で強い人間を育てていこうという方向性を示したもの。また、未来づくり推進協議会は、3町村と府が入って一緒にやっているもの。地域の課題も踏まえて、教育の中でも意識して進めてもらいたい。

○教育長

未来づくりビジョンに基づいて、教育も進めていくことになる。学校教育も社会教育も、子どもも大人も、スポーツ関係も含めて、考えながら進めていく。